



井山宝福寺にて



総社市の未来のために



今すべきこと

片岡聡一総社市長と荒木勝美総社市議会議長が、平成28年の総社市を展望。人口、企業、雇用が増えている現状を踏まえ、総社市の今について熱く語り合いました。



市長 あけましておめでとうございます。います。

議長 おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

市長 昨年のうれしいニュースといえば、子育て王国そうじやのマスコットキャラクター「チュッピー」が、全国から1727体出場したゆるキャラグランプリのご当地キャラ部門で、見事12位に輝きました。

変化し続ける

議長 市長は3期目、私は10年ぶりの議長就任。お互いに職の重みを感じますね。

市長 そうですね。その重みを具体的な政策という形に変えていきたいと考えています。

議長 議会では、常任委員会を4委員会から3委員会に改変し、また、次回の一般選挙から議員定数を24人から22人へ削減させるなど改革を進めてきました。これからも継続して改革を行っていききたいと思います。

市長 自ら変化を求めて改革し続

けることは、素晴らしいことだと思います。

議長 3期目はどのようなまちづくりを目指すのですか。

市長 総社市独自の福祉政策により、社会的に痛みを感じている人に寄り添えるような、全国屈指の福祉先駆都市を実現させたいと考えています。

議長 市民も注目する取り組みだと思います。

市長 実現のための会議も12月に開催し、議論をスタートさせました。緊急を要する対応が求められるからです。今後さまざまな団体と議論を重ね、全ての市民が安心して暮らせる、優しいまちを創っていきます。

まちの姿が変わる

議長 全国的に人口減少が危惧されているなか、総社市の人口は微増ではありますが、毎年増えています。このことは評価すべきことだと思います。

市長 人口が増え続けていることは大変喜ばしいことです。この流れをいつまでも続けていくために、慎重かつ積極的に市政運営を行っていききたいと思います。

議長 子どもの数も増えてきていますね。

市長 子どもが増え、待機児童が増えるという新たな問題も生まれてきました。

議長 総社市では子育て政策において、県下で早い時期から積極

的に取り組んでいます。手直しの必要もあると思います。

市長 待機児童0人を3年以内に達成するため、対応していきま

す。
議長 地域の活性化というのは、若者が集うまちでなければなら

ないと思います。そういう意味でも、子育て政策の充実には避け

ては通れない課題ですね。

市長 若者が住みやすいまちを目指すべきです。

議長 そのためには、企業誘致を進め、住む場所を提供し、家庭をもつたときに、子育てしやすい環境にする必要もあります。

市長 そうですね。そういう意味では、すべての政策はつながっていると思います。政策に連動性をもたせて、これからも全力で取り組んでいきたいと思いま

す。
議長 待機児童の問題や企業誘致、農地転用はまったく違う分野ですが、目指すところは同じことだという認識をもつ必要がありますね。

健康寿命を伸ばす

市長 健康についてなにか気を付けていることはありますか。

議長 年齢を重ねるごとに、食の好みが変わりました。最近は野菜をよく食べています。

市長 ご自身で野菜の栽培もされていますよね。

議長 そうなんです。また、週に3、4日は30分ぐらいうオーキ

ングをしています。

市長 健康に良さそうですね。私も、年間1000kmのジョギングを目標としています。

議長 年間1000kmはとても厳しい目標ですね。

市長 とても大変です。しかし、休日に私が走っているのを見た市民が健康に気を付けたり、運動を始めるきっかけになればうれしいです。

議長 そうじゃ吉備路マラソンの参加にもつながればいいですね。

市長 今年は、おかやまマラソンが始まって、初めてのそうじゃ吉備路マラソンです。緊張感をもって、全てのランナーに喜ばれる大会にしたいです。

議長 あまり参加人数ばかりを気にするのではなく、総社市らしさをアピールしたいですね。歴史口マン溢れる吉備路を、ランナーに感じてもらえたらうれしいです。

市長 今年は大会のボランティアとして2000人に協力をお願いしています。市民の皆さまからの協力をいただきながら、おかやまマラソンにも負けない大会にしたいと思っています。